

## 真宗大谷派 香流山 大應寺

TEL(052) 711-3348 携帯電話 090-3458-1420

寺報

であい



今年の夏は9月に入っても終わる兆しがなく真夏の猛暑が続きましたが9月半ばにしてようやく35℃を下回るようになり、僅かながら季節が変わりつつあるようです。さて、当寺院の建替え工事も中盤に入り骨組みです



が建物全体が建ち上がりました。酷暑の中での現場は“熱さ”との戦いで、まさに命がけの作業が続きましたが、さすがプロの職人集団です。きっちり仕事をこなす姿にはただ頭が下がります。

妥協を許さずその日その時すべき事をする。苦難と向き合い乗り越えて行く姿勢。私達はつい難を避け後回しにして無難に過ごそうと

していませんか？『今いのちがあなたを生きている』この「今」は一瞬にして二度と取り戻せない尊い時間。決していい加減に無難に過ごしてはならない「今」を生かされているのですね。力強くしっかりと「今」を生き抜く姿を拝見し、頂いております。

### 《起工式》 ～平成22年6月21日当寺院新築工事の起工式を執り行いました～

建物を新築する時、地鎮祭を執り行います。その土地の神を鎮め、土地を利用させてもらうことの許しを得るため、神を祀って工事の無事を祈る神式の儀式が一般的です。この儀式どうして神式なんですか？ 仏式もあるんですよ。「起工式」です。

真宗の起工式は神式の地鎮祭とは意義が異なります。お念仏のご縁がある人はみ仏に常に見守られている故、わざわざ神に許しを乞うたり除難や安全祈願をする必要はありません。今に至ったすべてのご縁とこれから頂くあらゆるご恩を喜び、感謝しつつ、決して難無きを祈るのではなく、むしろ起こり得る苦難を受け入れ、積極的に向き合える強い意志と強固な力を頂くのです。結果より優れた物を創り得ることでしょう。

余談にはなりますが「難無き事」それは「無難な事」。もし大工さんに「今日の仕事無難にやっと来ました」と言われたらどう思いますか？

ともあれ起工式を終へ、とても充実した一日になりました。皆様も言われるがまま、形式だけの地鎮祭ではなく、是非意義のある仏式の起工式を行ってはいませんか。



合掌

- 1 -